第１回 柱本小学校・三石小学校学校再編準備委員会 合同会議　議事録

日時　令和８年１０月２７日　19:00～21:00
場所　紀見北地区公民館

出席委員（柱本）：梅谷委員長、高際副委員長、坂委員、村上委員、奥野委員、辻井委員、嶋委員、
魚住委員、杉坂委員、矢野委員、房本委員、岸田委員、阪口委員、
井上（雅）委員、井上（佳）委員
欠席委員　：森脇委員、髙端委員、
出席委員（三石）：大山委員長、坂本委員、平井委員、出山委員、中本委員、森川委員、堀切委員、
早瀬委員、松林委員、村上委員、岸田委員、宮地委員、阪口委員、山本委員
欠席委員　：北村副委員長、川瀬委員、中西委員
教育委員会：今田教育長、田中教育委員、籔下教育委員、中下教育委員、岡教育部長、阪口参事、
坂口紀見北地区公民館長、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導
主事、東学校再編推進室主任、今山学校再編推進室主任

柱本小・三石小各再編準備委員会を開催し、正副委員長を選出した後、合同会議を開始する。

１　柱本小学校と三石小学校の再編統合（資料 3P～9P）

事務局よりこれまでの市の方針及び計画、説明会等の開催状況、並びに再編統合に係る対応について説明し、再編統合を進めることに承認を求めた。

委員からの質問等は以下のとおり。

	内　　容
委員	経過は資料 4 でわかりました。おそらく令和 14 年になったら統合した以上に児童数がどんどん減ってくると、増えるのはしんどいかなと見てます。 このまま令和 20 年になってくると、にっちもさっちもいかない状態になってくるのは目に見えてます。 柱本、三石台ほか、あらゆるところに子供をお持ちの家庭の方が入ってきて、魅力ある学校を残すために、市と教育委員会が一緒になってやっていかないといけないと思うが、その点お聞きしたいと思います。
事務局	子供たちの数が減ってくる中で、再編統合を計画しています。今後も児童数は減少していく見込みとなっています。 一方で市全体としても、例えば転入促進ですとか、いろんな施策を講じて、子供たちを育てやすい環境を整えることで、産んで育ててもらいやすい地域づくりに取り組んでいく必要があると思います。ただ、全国的な人口減少というか子供の数の減少に、歯止めをかけるまでには至っていない状況です。 学校は地域の方、いろんな方の協力で成り立っているところがあります。現在も

	いろんな形でご協力いただいておりますが、再編統合して、新しい学校になりましても、お集まりの皆さんはもちろんですが、地域のお住まいの方がいろんな形で新しい学校にもご協力いただいて、新しい学校で子供たちによりよい学習環境を作りあげたい。この再編準備委員会におきましても、今後の協議の中で、いろんなご意見をいただいて、よりよい学校になるように進めて参りたいと考えています。
委員	引っ込み思案というか、なかなか学校に行けないような人がここに来たら元気になったと、その親御さんが喜んでくれるような学校を考えて欲しい。 賢い、やる気のある子ばかりでなく、橋本に来てよかった、子供がこんなに元気になったと言われるような施策を希望します。
委員	再編を今日了承しないといけないんですか。今日了承したらもう見直しはしないんでしょうか。 恋野と隅田が第1回目の準備委員会は別々にされたと思うんですけれども、三石・柱本が合同で第1回目の準備委員会が開かれて、急ぎ過ぎのような気がするんですけれども、何か理由とかあるのでしょうか。 市長に出した公開質問状に対しては、拙速な対応はしないと答えられてますし、もう少しゆっくり丁寧にできないかなとは思ったんですけれども、今日しないとだめなんでしょうか。第1回目で顔合わせしたばっかりなので、もう少し話しできたらとは思うんですけども。
事務局	教育委員会としましては、計画している再編時期は令和11年4月ということで、2年半ぐらい時間があります。今日、ご了承いただきたいと申し上げましたのは、今までの説明会の状況と、新しい学校づくりの協議、よりよい教育環境をどうしていくかの議論に入っていただくには、ここで確認をいただいた上で、入っていきたいと考えているところです。再編前の学校選択もございますし、再度となりますが、新しい学校づくりの具体的な協議に移っていただきたいということで、ここでご了承いただきますと、そちらの方に移行していけるのかなと考えています。
委員	お考えはわかりました。でも今年度の準備委員会は、スケジュール的には今日とあと来年の2月とお聞きしたんで、私個人なんですけれども、やっぱりなんか早いなと思うんですが、そのように進めようというのが考えなんですね。わかりました。
委員	バスの乗り降りの候補地の件なんですけど、これで決定なのか聞きたいのと、この場所について、学童保育のすぐ目の前というのもあって、安全面であったりとか、生活の面で大分影響が出てくるんじゃないかと思うんですけど、その辺の考えを聞きたい。
事務局	まずスクールバスの運行ルートは資料8・9ページに書かせていただいています。これまでの説明会で、特に柱本小学校区の皆さんには、具体的な停留所の案がないとスクールバスの運行に理解いただくのが難しかったので、具体的な案を示しています。こちらはまだ決定しておらず、これをもとに準備委員会で新しい学校に向けて協議をさせていただきたいと思っています。 もう1つは資料5ページです。学校の乗降場の話になります。当初、違う案もあ

	ったんですけども、説明会の中で、スクールバスで柱本の子供たちが三石に来るとすれば、子供たちが安全に通うためには、スクールバスの発着を学校の敷地内にというご意見を多くいただいたため、このような案を示させていただいています。 一方で、今言われましたみたいに、乗降の候補地の近くに学童保育所があります。ご存じかと思うんですけども、この前の道と三石小学校の敷地は、高さが違うところが多く、今の正門も体育館前の敷地と道路で結構な高低差がありまして、バスは底を擦って入れないという状況です。 学童保育所の前が道路と学校の敷地の高さが唯一、一緒になる箇所だということで、このように計画しているんですけども、ご心配のとおり、安全対策は最も重視しないといけないと考えています。この案を決めるにあたりましては、我々だけでなく、土木など技術の担当の者と、スクールバス運行事業者にも協力いただいて、バスが入れるのか、安全対策はどうかなど、何度も現地確認して、この案を示させていただいています。 　安全対策は十分にやっていく必要がありますので、十分配慮した設計を組んでいきたいと思いますし、学童の運営団体さん、保護者さん等とも意見交換をしながら、対策を講じて参りたいと考えています。
事務局	この件につきましては、柱本小学校と三石小学校のそれぞれで学童保育を利用されている保護者の皆さんと協議を重ねていくということを約束をしていますので付け加えさせていただきます。
議長	議長を離れて発言しても良いですか。私は光陽台の区長をやらせてもらってるんですけど、区長会でもこの 4 月から統合についての話が顔合わせの度に話題になるわけです。地元の柱本地区で話になるのがバスの運行、乗降場所、ルート、三石小学校の乗降場所についてです。 　この資料の内容は我々の中でも満足したものではないわけです。それをこれからこの委員会で、より良い状態にできへんかというのは、常に区長会でもお話しているんで、これから皆さんでいろんな忌憚のない意見を出しながら、よりよい方向に向くような話し合いをやっていけたらと思っています。 我々区長会もすでに意見の出し合いっていうのはやってますんで、同じような気持ちだと思いますので、これからどんどんそういうお話をいただけたら幸いです。 よろしくお願いします。
委員	今回の資料に柱本小学校の跡地活用についての記載が全くされていなくて、柱本地区の説明会のときは何か教育に関わることとか、地域住民に身近に関わるような跡地にしようと書いてあったんですけど、それ以降、跡地についての話し合いは全然されていないと思っています。ちょっと不安というか、跡地についてどうなるんかなと思ってることがあって、信太小学校に信太ベースってキャンプ場があったじゃないですか。それが去年まで運営されてたんですけど。あと西部中学校の跡地も今年の 4 月から高野山の通訳を育成する学校になっているんですね。市長さんのインスタグラムを見たらわかると思うんですけど。

	跡地について宙ぶらりんのまんま準備委員会が進んでいったら、市が責任を持って運営してくれるなら安心だと思うんです。災害が起きたときの避難所に指定されてるんで、柱本地区の人たちは無くなったら絶対に困るんですね。 もし、その運営を企業に買われて、どういう使い道になるかわからないってなったときは、地域の人からすごく不満が出てくると思うんで、運用方法とかもしっかり考えて話を進めていって欲しいと思います。
事務局	おっしゃられる通り、跡地活用については、今までの説明会でも具体的な案は、まだお示しできておりません。資料 3 ページを見ていただきたいんですけれども、左下に学校再編準備委員会があって、その下に協議事項がございます。この再編統合に伴って、施設の整備などいろいろ検討してることがあり、柱本小学校の跡地活用につきましても、この準備委員会で協議をいただきたいと思っています。 これまでいろんなご意見もいただいてるところはあるんですけれども、市の推進計画の中では、跡地活用の基本的な考え方だけを示している状況です。まず学校は避難所になっていますので、避難所としては継続していく形になります。通常時の活用につきましては、4 つの中学校区で再編統合を進めており、廃校になる学校が出てきますので、その利用の考え方としまして、まず一番大事なの地域の皆さんがどういうニーズ、思いを持っていらっしゃるかが 1 つ。2 つ目が公共施設としての活用。これは市の方で活用案があるかどうかということ。3 つ目が先ほどおっしゃられましたように民間のニーズがあるかどうか。この 3 つの要素があると考えています。 この 3 つの要素の中で併用もあるかもわかりませんし、どういう形で進めていくべきかをこの準備委員会でご協議いただく中で、地域の要望がどこにあるか、具体的な跡地活用の案を見いだしていきたいと考えています。現時点でいろんな意見をいただいておりますものの、具体的な案はないので資料に掲載はありませんが、しっかり協議はさせていただきたいと考えています。
委員	西部中学校跡地の専門学校に、今年 4 月に入学された人が何名かいらっしゃると見たんですけど、どんな方が何名入学して、何名までの規模で学校運営しているんですか。
事務局	具体的な人数は間違っていれば申し訳ないんですけど、すべて外国人でベトナム、ミャンマーを中心に約 70 人ぐらいだったと思います。すべて大阪の方から電車で通学して、林間田園都市駅からバスに乗って通ってくれている状況です。全員 1 期生になるんですけど、日本語を大阪などで学んで基礎を作った学生さんが、西部で観光のことを学ぶ状況になっています。
事務局	定員は学科が 2 つありますので 40 人ずつの 1 学年 80 名の 2 学年で 160 名。今後、学科の方は増えていく可能性もあるんですけども、認可を受けた学校法人になります。それから、大阪に専門学校を持っていますので、大阪府の指導の管轄に入っています。橋本に 4 月から開校しましたので、専門学校ということで、和歌山県の指導を受ける形になっています。そういう中ではルールに基づいた専門学校運営をし

	ていただいています。 　また、日々、地域の皆さんとコミュニケーションもずっととられておりまして、定期的に地域の皆さんにこういう形で学校を進めていますという報告であったり、地域の方を学校に招かれて、交流会を年に1度開催するなどの取り組みをしていただいて、地域の皆さんと一緒に運営していきたいという形で学校運営をされているということです。
委員	地域の方たちから反対意見とか全然なかったんですか。説明会もされたと思うんですけど、そこで反対だよって言ってくる人はいませんでしたか。
事務局	初めてそういった話が地元に来たときは、心配する意見は確かにありました。それで、運営法人に教育委員会も随行して、区長会への説明に入ったんですけど、言葉の問題であったり、文化の問題であったり、地理的なことであったり、そういった中でいきなり来て大丈夫なのかなという心配はありましたが、開校して、学校内での活動にとどまってるんですけど、大きな問題は特にないと認識しています。
委員	この再編について、最初の方の説明会にも参加させていただいているんですけど、地域の人の反対の意見は絶対にあったんですよ。「時期尚早じゃないか。」「もうちょっと考えたほうがいい。」「違うやり方でやったほうがいいんじゃないか。」っていうのが。だけど、その意見を言ってくれる人は、必ず毎回参加してるわけではなく、1度来た説明会で意見を言ってくださって。それが何かに活用されるかなと期待を持って意見をしているんですけど、きっとその西部中学校の心配やなっていう意見と同じように、消えていった声じゃないかなと思っています。
事務局	三石小学校と柱本小学校の再編を進めていくんですけど、運営法人が地域の方にどれだけ浸透したか、これからいろんなことを考えてもらうべきと考えています。
委員	地域住民の声をしっかりと聞いていただいて反映いただくことが、地域住民の気持ちだと思います。よろしくお願いします。
委員	参考までにお聞きしたいんですけれども、恋野と隅田は第1回目の協議会で了承は出たんでしょうか。それが確定になって、再編統合を決定して、準備は進んでいるんでしょうか。
事務局：	隅田小学校と恋野小学校の進め方と今回の柱本・三石、それからこの後2つの中学校区を控えているんですけども、隅田・恋野とそれ以降については進め方が少し違っています。隅田と恋野につきましては、説明会等は令和7年度に個別の説明会をさせていただいた中で、当初は隅田と恋野もいろんなご意見もありましたし、再編に反対だというご意見も届いており、区長会からは嘆願書が出されたという状況もございました。そんな中、懇談も重ね最終的には子供たちのことを考えて、了承しますよと言っていただきました。 　再編統合を進めるにあたり、当然皆さんのご理解をいただくことも必要なんですけども、最終は市議会での条例改正の承認が正式決定となります。隅田、恋野は、条例改正をする前に準備委員会を立ち上げてはおらず、それまでの説明会でご理解をいただいてきた経過を踏まえて、条例改正をさせていただきました。その後、準

	備委員会を設置して、第１回目の準備委員会でご承認をいただき、新しい学校づくりについて協議に入っていただいたという流れになっています。 　三石と柱本以降は市議会からの決議もございまして、説明会等でご理解をいただく努力は必要なんですけども、準備委員会を条例改正をする前に立ち上げて、再編統合を進めることの確認を取らしていただいた上で、議会の条例改正という手続きを踏んで、その後、準備委員会で新しい学校に向けた具体的な協議をさせていただくという流れになっています。
委員	今回はいつの市議会に出そうと思われてるんでしょうか。了承が取れたら、この時期の市議会に提出というのはあるんですか。
事務局	本日、再編を進めることをご確認をいただきますと、直近で 12 月に市議会が開催されますので、そちらに提案をさせていただいて、承認をいただきましたら、次回の準備委員会が2月ということで教育委員会としては進めていきたいと考えているところです。
委員	柱本小学校は立派な小学校ですので、もし他県などから新しい学校作りたいので是非とも譲って欲しいと言われたら、それはありえるんですかね。 　良い話が来たと我々の話を聞かないで、頭ごなしでやらんといて欲しい。小学校に子供たちがいないんで、今後統合しないといけないという話なので、そういうことはないように、是非ともお願いしたいんですけども。
事務局	先ほど、地域のニーズ、行政ニーズ、民間ニーズという手法としては 3 つ考えられるというお話をさせていただきました。その 3 つが並列ではなくて、地域のご意向がどこにあるのかを一番大事にしないといけない。その上で、例えば地域の方が民間ニーズも模索してもいいんじゃないかっていうご意見が出るかもわかりません。地域のご意向がどこにあるかを最も大事にしながら、この跡地活用の協議をさせていただきたいと考えています。
委員	今までの記録を読み返すと、跡地の問題が一番大きかったと思うんですよ。会議のときでもね。それで、まだ避難用地だけやと言うはったから、教育委員会何も考える気はないのかと思ってるんですよ。例えば、柱本小学校で使ってるのは、岡潔記念館だけですわな。もっと使い道はいっぱいある。 　スクールバスのルートにしてもそやねんけども、危ないとこ通ってることもあるんですよね。慶賀野で乗るところ、反対側で帰ってくるとき反対車線へ下ろすのかとか。それか川上酒店のところで降ろすのかとか、そういう話も全然出てないと思うんですよ。遠くはなるけども、安全的に言えば川上酒店で降ろしてもらって、歩いてもらうのが一番いいと思う。遠くになったら、その家の人は嫌がる可能性はあるんで、難しい問題やねんけども。僕が一番初めに言いたいのは、今までずっとやってきた中で、何も決まってないのがどうしてなのかなという感じやね。 　頭数ようさんおるのに、何でそういうとこが出てこないのかなと。会議してる中でも一般の方が来てくれて、いろいろと言うてくれてませんか。その中でのことを聞いて、いろいろとすること、やらなあかんことがいっぱいあると思うんですよ。

	学校再編せなあかんねんということをしたいんだったら、議会の方もあるんやけども、議会の方もまだちょっと考えてはるという方がようさんいてる。僕も知ってる人ようさんおるから、それは聞いてんねんけどね。これはやると、教育委員会の方から出して今日の会議にするべきやないんですか。
事務局	跡地活用の関係とスクールバスの2つのご意見をいただいたと思ってます。スクールバスの停留所については、道路のどちら側で降りてもらうかによって、道路を渡らないといけない。そんな状況はできるだけ避けるように、帰りはこちら側で止まるとか、両サイドで止まるとかを考えています。跡地活用は、今までの説明会でも、避難所の話もありますけども、公民館的な活用もできないかとか、いろんなご意見いただいてます。市の案として何か具体なものをこの場でお示しするものはないんですけども、内部では今までいただいた意見の中で、この可能性はどうなのかという議論はしています。 本日は再編統合を進めることの確認をさせていただきたいと思うんですけども、条例改正が終わった2月以降で、3ページに載っている協議事項の具体的な案を皆さんにお示しさせていただきます。校名についても具体的な議論をしていただけるように進めて参りたいと考えていますので、よろしくお願いします。
委員	柱本小学校、三石小学校ともに未就学児の保護者の説明会が載ってます。学童も載ってます。これは三石小学校区、柱本小学校区の学童保育のみなのか、市内全域のこども園の保護者にも説明しているのか。令和9年度には学校を選択できるので、全てのこども園の保護者に対して説明しているのか尋ねたい。 30年前、柱本小学校は600人とか700人いた子供がわずか少数になっている中で、跡地問題とかバスの問題とかありますが、そこを解決するのが大人なので、よく考えて、よく勉強していかないとだめかなと思い、意見を言わせていただきました。
事務局	まず未就学児の保護者さん向けに説明会を開催させていただきました。説明会の案内は、地域の皆さんには広報とともに全戸配布でいかしていただきました。小学校の保護者さんには学校を通じてご案内させていただきました。一番難しかったのは未就学児の保護者さんへのご案内です。この紀見北界隈にあるこども園とか保育園に行かれてる方は確かに多いんですけども、市内のいろんなこども園等に行かれています。そこでこども園や保育園の園長会でご相談をさせていただいて、各園でこの紀見北エリアに住んでいる保護者さんがいれば案内を渡してくださいという形で、対応いただきました。 もう1つ、2年前からの学校選択ということで、このままここで承認いただいて、議会でもご承認をいただきましたら、来年度に柱本小学校に入学する予定の新入生はどちらかを選べることになります。この保護者さんにも2年前の選択を含め、全体的なお話をする必要があります。今までの説明会に参加出来なかったなどいろいろありますので、次に入学するお子さんたちは、柱本と三石それぞれで就学時健診があります。健康診断を受けて入学する学校の説明を受ける機会が、ちょうど今月から来月にかけてあります。柱本小学校は11月12日にありますので、そちらにお

	邪魔をさせていただいて、この 2 年前選択のことも、ご説明をさせていただきたいと思っています。

その他の質疑がないことを議長より確認後、議長より市からの経過説明等を踏まえ、柱本小学校と三石小学校の再編統合を進めることに承認を求めた。

	議　事
委員	再編統合するということは決定事項じゃないんですか。我々がここで再編統合を承認するんですか。今までのお話で背景とか、これから何をしていかなくちゃいけないのかはよくわかってます。だけど、なぜ私たちが承認するんですか。それがわからない。私はもう決定事項だと思ってました。
事務局	再編統合の市の計画としてはすでに決定しています。計画を実行するにあたりましては、市が勝手に実行していくわけには参りませんので、皆さんのご理解をいただく必要があります。再編等は市が責任を持って進める必要があるのは間違いありませんが、説明会の開催に加えて、この準備委員会におきましても、市がこのまま進めていくことを確認いただいた上で、市議会にも条例改正を提案し、ご承認いただきましたら、それを最終決定とする流れになります。責任を持って進めるところは当然市とか教育委員会が、しっかりやっていかないといけないところですが、準備委員会でも進めることを確認をいただきたいと考えています。
委員	私たちが責任を持つことについて、逃げたくて言ってるわけじゃないんですよ。手順として、今日のお話も聞いてましたけど、教育委員会として再編統合は絶対進めるんだという強い意志があんまり見えなかった。失礼な言い方で申し訳ないんですけど、これは進めるんだと。 市民の結果も見てますよね。この前の市長選挙でも再編統合する方とそれに反対する方がおられて、今の市長になってるわけですから、これをひっくり返すのはどうかなというふうにも思います。私としては、教育委員会として決まったんだからこうやるんだ、こういう問題とか解決しなくちゃいけない矛盾点とか、よりよい教育環境を作るためにどうしたらいいかとか。特に柱本小学校・三石小学校の児童さんが一緒になったら、中学校 3 年生まで同じクラスっていう可能性もないことはないんですよね。 その辺で十分に検討する余地があると思うし、提案をどんどんやってください。 お願いします。
事務局	子供たちを中心にして、よりよい学習環境を整えたいということで、皆さんの意見を聞いて進めたいと思います。ありがとうございます。

議長より再編統合を進めることに賛成の方の挙手を求め、賛成多数で承認された。

	議　事
委員	手をあげるか大分迷ったんですけども、反対ではないが、やっぱり急ぎ過ぎてるんちゃうかなってすごい感じるんです。お話聞いて 12 月の議会に間に合わせたいんやなあというのがよくわかりました。確認されて進めることになった以上、協力できることはどんどん協力させていただきたいと思うんですけれども、限度や期間はありますが、くれぐれも急ぐことなく、ゆっくりと丁寧に進めていっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
事務局	子供たちを中心にして、よりよい学習環境を整えたいということで、皆さんの意見を聞いて進めたいと思います。ありがとうございます。

２　今後のスケジュール（資料 10P）

事務局より以下の点について説明。

・次回の各準備委員会が令和 9 年 2 月の開催予定。

・各準備委員会が令和 10 年までで合計 10 回で合同会議が計 5 回。進捗等により変更の可能性があるため現時点の目安。

・会議日程は原則前の会議でお伝えし、その後文書で改めて通知。

・第 2 回準備委員会までに各部会を開催し、情報共有や調整事項の検討、スケジュールの確認を行う。各部の検討事項等は準備委員会で審議・報告する。

・次回準備委員会での審議・報告予定事項は以下のとおり。

部会名	審議・報告事項
教育課程部会	再編統合後の授業などに関すること
児童部会	児童ケアの参考とするアンケートに関すること
施設部会	三石小学校における施設改修、柱本小学校の跡地活用等に関すること
通学・安全対策部会	柱本小学校区におけるスクールバスの運行に関すること
校名・校歌部会	新しい校名・校歌等の方針に関すること
地域連携部会	両校のＰＴＡや学校運営協議会、地域と児童の交流等に関すること

委員からの質問等は以下のとおり。

	議　事
委員長	資料 3 の表に「スクールバス運行計画（案）決定」とあるが、令和 8 年度に決定するのか。
事務局	令和 8 年度中の準備委員会があと 1 回だけになってますので、決してここで決定したいというわけではなくて、令和 9 年度にかけても引き続き検討し、対応したいと考えています。